

Search PARI 

日本語 English

パブリケーション 研究部門 イベント メディア メンバー PARIについて

複合リスク・ガバナンスと公共政策研究ユニット 知的資産経営研究講座 安全保障研究ユニット

PUBLICATIONS

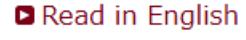
パブリケーション
政策提言
Policy Briefs
業績一覧
発表論文
Working Papers
コラム
インタビュー
研究ノート
季刊誌・書籍等
ブログ
書評
アーカイブ
Policy Issues
研究報告等
震災復興支援サイト
用語集

 Twitter
 Facebook
 YouTube
 Magazine

Policy Briefs

Policy Briefは様々な政策案件に関して、政策ビジョン研究センターや本学の関連部局などの政策研究のエビデンスに基づき、政策の選択肢について簡潔に解説を行うものです。重要な政策案件について、今後もタイミングをとらえた発表を行っていきます。

 いいね! 0  ポスト 2016/5/13




Traveling through time Chris Chabot, on Flickr

Rebuilding Global Health Governance -Recommendations for the G7

(2016年5月13日)

■要約（政策提言）
■プレスリリース グローバルヘルス・ガバナンスの再構築－G7への提言
■全文PDF （英語）

城山 英明（東京大学政策ビジョン研究センター・公共政策大学院・大学院法学政治学研究科 教授）
勝間 靖（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授）
松尾 真紀子（東京大学政策ビジョン研究センター 特任助教）

2014年に西アフリカ諸国で生じたエボラ出血熱は、それへの対応が遅れたために、人道的・経済的・政治的危機を引き起こした。公衆衛生・保健の問題は、2015年に採択された「持続可能な開発目標（SDG）」の目標の一つになっている。また、感染症の蔓延、テロによる生物化学兵器等の使用、難民問題による国際的な人の移動など関連する課題も多い。

上記を受けた、東京大学政策ビジョン研究センター複合リスク研究ユニット（代表・城山英明東京大学教授）による、5月26・27日に開かれる伊勢志摩サミットに向けた、G7各国に対するグローバルヘルス・ガバナンスの再構築に関する包括的政策提言。

▲このページの先頭に戻る